

経済学会 584 回例会

2019 年 7 月 17 日 (水)

報告者 宮川 栄一

論題 大学授業のゲーム理論分析

要旨

大学生はあまり勉強しないと言われるが、成長期の大学生の 4 年間をあまり勉強しないで過ごすことは、人的資本の蓄積に大きなマイナスになると考えられる。改善策はいろいろ議論されているが、厳密な経済モデルに基づいた考察はあまり行われていない。そこで本研究では、授業における学生と教員の最適行動の相互依存関係をゲーム理論モデルを使って詳細に分析し、その上で改善策を議論する。教員のインセンティブのモデル化が難しいので、皆様からのコメントを参考にさせていただきます。